



# 北九州市とデンマーク王国大使館との覚書締結について

北九州市デジタル政策監 上田 紘嗣  
北九州市デジタル市役所推進室長 井上 尚子

北九州市デジタル市役所推進室行政サービス改革担当課長 須山 孝行  
北九州市デジタル市役所推進室行政サービス改革係長 高塚 靖彦

## 覚書締結とその目的

2022年10月、北九州市と駐日デンマーク王国大使館は、デジタル化、環境、エネルギーなどの分野における協力に関する覚書を締結しました。北九州市が外国の大使館と覚書を締結するのはこれが初めてです。



北九州市とデンマーク王国大使館の覚書締結

覚書締結のきっかけは、駐日デンマーク大使館によって開催されたセミナーです。北九州市がDXの取り組みを進める中で、先進国事例を学ぶため、市の担当者がそのセミナーに参加しました。これを契機に、同国大使館と北九州市の担当者レベルでWeb会議や相互訪問など、情報交換や意見交換を行うようになりました。

こうした中、一定の枠組みを設けて連携を深めたいという意向が相互に一致し、覚書を締結することとしました。北九州市としては、デンマーク王国の先進的な知見を取り入れ、市民サービスの向上や再生エネルギーの普及・拡大など、DXやSDGsに関する取り組みが錬磨されること、さらに、この覚書に基づく連携・協力が、デンマーク王国および大使館の発展につながることを期待しています。

## デジタル化分野での取り組み

北九州市においては、2021年12月、「北九州市DX推進計画」を策定し、「デジタルで快適・便利な幸せなまち」をミッションに掲げ、行政内部のデジタル化、手続のオンライン化などから着手し、地域全体のDXに向けて取り組んでいます。

2022年3月には、「第1回日経自治体DXアワード」において全国で唯一の大賞を受賞し、同8月には、「夏のDigi田甲子園」において内閣総理大臣賞を受賞するなど、北九州市のDXの取り組みは、徐々に評価をいただくようになってきました。

**北九州市のDXに係る取組**

デジタルで 快適・便利な 幸せなまちへ

**「デジタルで 快適・便利な 幸せなまち」**  
を目指し、DXを推進中

↓

**第1回日経自治体DXアワード（令和4年3月）**  
先進的なDXの取組を行う自治体として、**全国で唯一の大賞を受賞**  
(主催：日経デジタルフォーラム)

**夏のDigi田甲子園（令和4年8月）**  
**「北九州市 中小企業のDX支援加速化」が、**  
**「夏のDigi田甲子園」で内閣総理大臣賞・優勝** (主催：内閣官房)

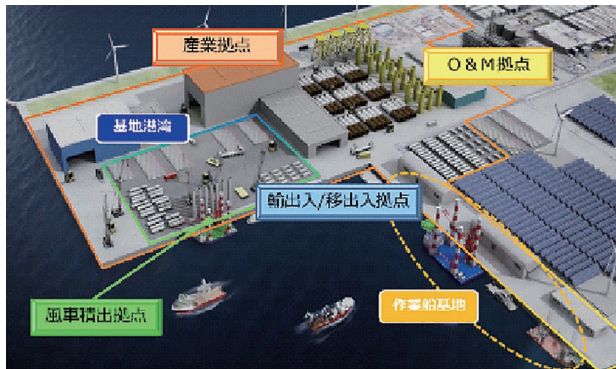
北九州市のDXに係る取り組みへの評価

デンマーク王国は、国連が発表する世界電子政府ランキングにおいて3回連続1位に選ばれるなど、デジタル化の分野で世界最先端の国で、社会の電子化が隅々にまで行き届いています。1968年に日本のマイナンバーに相当する制度がスタートし、ほとんどの行政手続は個人も法人もポータルサイトからオンラインで行うことができます。北九州市では、このような先進事例を学び、DXをより加速させたいと考えています。

2023年1月には、静岡県裾野市とともに、デンマーク企業のフロントデスクジャパン株式会社との実証にも乗り出しました。

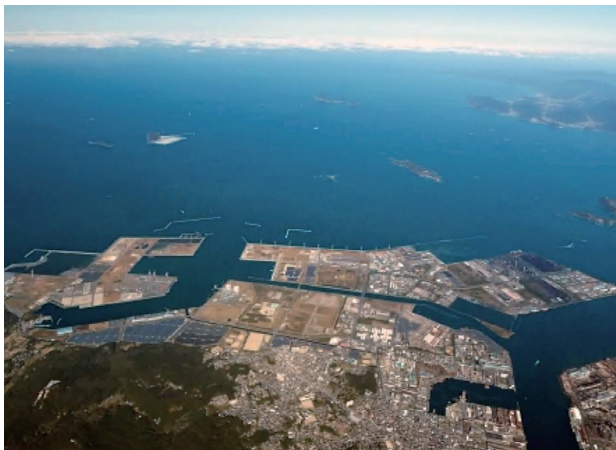
## 環境、エネルギー分野での取り組み

北九州市は、公共施設における再エネ 100%電力化や、洋上風力発電関連産業の総合拠点化などの取り組みを一体的に推進しており、2022 年 4 月には国から「脱炭素先行地域」に選定されました。



洋上風力発電関連産業の総合拠点のイメージ

デンマーク王国は、風力発電機のグローバル企業 Vestas 社が本社を置くほか、風力発電のサプライチェーンの中心として世界をリードする国でもあります。とりわけ洋上風力では、重厚長大な部材輸送を支える港湾の開発・運営において 30 年以上の実績があり、世界最先端の技術が蓄積されています。



響灘洋上ウインドファーム事業の予定地（響灘地区）

官民の連携で風力発電産業の総合拠点を目指す北九州市は、2010 年代から産業・港湾の両面でデンマーク王国との交流を続けており、様々な知見を本市の取り組みに活かしています。

特に、北九州市の港湾区域で開発が進む「響灘洋上ウインドファーム事業」は、我が国初の Vestas 社製 9.6MW 風車が 25 基設置される大規模プロジェクトで

す。2022 年度中の着工を経て、2025 年度には設置工事・運転開始を迎える予定です。



Vestas 社の大型風車

## おわりに

デンマーク王国では、デジタル化や洋上風力だけでなく、港湾の開発・運営、Power-to-G、Power-to-X など、カーボンニュートラルに向けた総合的な取り組みが官民の連携の下で進められています。また、同国のオーデンセ市は、産官学が連携し、スタートアップ企業を含めたロボット産業の集積地があります。

一方、北九州市は、東アジアの中心、日本の西の玄関口という地理的優位性を活かし、産業技術と物流の両面から地域の洋上風力市場の拡大に貢献することを目指しています。また、ロボット産業分野では、安川電機という世界的なメーカーが立地しています。

今後のデンマーク王国との交流により、デジタル化や洋上風力のみならず、港湾開発・運営やロボット産業などについても、幅広く先進地の知見を共有し、双方の強みを活かした相乗効果が生まれることを期待しています。



安川電機本社